

FM いづのくに 令和 7 年度 第三回番組審議委員会議事録

実施日時：令和 8 年 1 月 23 日(金) 14:00~15:00

実施場所：韮山生涯学習センター

出席委員：和田氏、内山氏、土屋氏

事務局：神田

1. 前回まで審議についての回答

【令和 7 年 7 月に開催された際に出たご意見への回答】

- ・特になし

2. 審議番組について

「新春特番」について

委員 A

- ・議題が不明であった
- ・市長の話もただ収録して流すだけでなく、聞く人たちが興味関心を持ってくれるような工夫がされているかが必要である
- ・子ども議会は子供たちが頑張っている姿なのでよいところではあるが、議会という形にとらわれすぎていて大人の議会をそのまま真似しているだけで主旨が伝わってこなかった
- ・市民・リスナーはどんな情報を求めているか。その期待に応えるために、どんな番組づくりをするかが、ポイント

(事務局)

審議番組についての確認してもらいたいポイントの明確化をし、募集通知に記載することをする

こども議会については担当部局へ意見があったことを報告する

委員 B

- ・以前の似た番組と比較して意見を聞く形をとるというのも選択肢の一つ
- ・こども議会は本当の議会と同じ形式にこだわりすぎているようだった、私の主張発表大会のように自分の意見を発表する場であってもよかったですのではないかと感じた

(事務局)

こども議会については担当部局へ意見があったことを報告する

委員C

・審議するポイントがわからなかった

・こども議会の音源にノイズが多く、カメラのシャッター音

→こどもたちが早口でわかりにくかったけど一生懸命にやっているのは伝わった

(事務局)

収録の環境についてスピーカーから出る音声をボイスレコーダーで収録したため環境音まで拾ってしまっていた、機材には限界があるが出来る限りの対応をします

こども議会については担当部局へ意見があったことを報告する

3. その他

・こども議会へ意見を伝えて欲しい

→担当は議会事務局ではなく、企画課主導であったため企画課へ意見を報告します

・前回の議事録がホームページに上がっていなかった

→審議会終了後、対応する

(事務局) 荘山高校の番組を4月からスタート予定、次回の審議対象と考えている

・伊豆中央高校は？

→開始時期はズレてしまうが進めている

・どんな番組内容か

→現役学生が自分たちの学校の魅力を発信する番組と考えている

・もっと聞く人、聞いてもらいたい人たちに届く番組にしたほうがよい、番組を通じて社会に地域に何かを訴えかけるなど、学生から学校審議会のメンバーについて意見を伺う、意見交換するといった番組でもよいと思う

→高校生と議論して「聞いてもらう」「聞く人」を意識した番組作りをしていきます

・審議委員の選任について

以前お渡しした審議委員規定に現在委員を務めている団体に委員をお願いすることとした旨を取締役会で図った

他団体を入れて様々な層の方にも意見も必要

番組審議委員の選任についての基本的な考え方を議論する必要がある

4. 次回の回答事案

- ・委員の選任候補団体について

次回 令和8年7月17日(金) 会場は垂山生涯学習センター 14:00~

要約

市長インタビュー番組について

- ・ 音声品質: 市長の話は聞きやすく、内容も良好だった
- ・ 課題: 音声のみでの伝達における限界
- ・ 身振り手振りや表情が見えないため、十分な理解が得られるか疑問
- ・ 通常の会場録音をそのまま流すだけでは効果的でない可能性

子ども議会番組について

- ・ 音響面の問題: 雑音が多く入っていた (カシャカシャ音、カメラのシャッター音)
- ・ 子どもたちの早口で聞き取りにくい部分があった
- ・ 内容面の評価: 子どもたちの一生懸命な姿勢は評価できる
- ・ 事前準備に多くの時間をかけていることが伺える
- ・ 形式面の課題: 大人の議会と同じ格式にこだわりすぎている
- ・ 子ども議会としてはもっと自由な形式でも良いのではないか

番組審議委員会の運営課題

審議の方向性について

- ・ 現状の問題: 何を審議すべきかポイントが不明確
- ・ 求められる役割: 偏向報道やプロパガンダ的要素がないかの公平性チェック
- ・ 改善提案: 具体的な審議ポイントを事前に明示する
- ・ 通常番組と特別番組の比較検討
- ・ 相互の意見交換を重視した運営

委員構成の見直し

- ・ 現在の構成: 観光協会、社会福祉協議会、文化協会、ボランティア協会からの推薦
- ・ 課題: より多様な階層の市民代表が必要
- ・ 検討事項: 充て職以外の学識経験者の追加
- ・ 最低人数(5人)の確保
- ・ 委員の選任基準の明確化

新番組企画について

垂山高校番組

- ・ 概要: 隔週日曜日放送、生徒が生徒をインタビューする形式

- 目的: 学校活動の発信、進学希望者への情報提供
- 課題と対応策:伊豆中央高校との公平性確保（両校での番組制作を検討中）
- スポンサー調整（複数社での協力体制）
- 番組の趣旨を明確化（単なる学校 PR ではなく、市民が聞きたい情報の提供）